

TOEICプログラムの紹介

一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会 三橋 峰夫
2017年8月20日 第15回 日本テスト学会 於東北大学

TOEICプログラム

TOEIC[®] Listening & Reading Test

- 初級～ネイティブレベルまでの幅広いコミュニケーション英語能力を評価するテスト
日常的な内容からビジネスまで出題(世界**150ヶ国**で実施)

TOEIC[®] Speaking & Writing Tests

- 国際的な職場環境において、効果的に英語でコミュニケーションをするために必要な、「話す・書く」能力を測定するテスト(世界**25ヶ国**で実施)

▶ Educational Testing Service (ETS)

TOEICプログラムの開発・制作



▶ 一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会

日本における実施・運営



IIBC 世界は、あなたでつながる。

一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会
The Institute for International Business Communication



How is TOEIC[®] Quality Guaranteed?



TOEIC[®] Listening & Reading Testの特長

- PBT、多肢選択式マークシート
- 英語学習初級者からネイティブスピーカーレベルの英語力を評価(CEFR基準でA1からC1レベル)
- Listening45分100問/Reading75分100問、計2時間で200問
- 10点～990点のスコアレンジで評価
- 評価基準は常に一定(Equatingが施されている)

TOEIC[®] Listening & Reading Test

Norm-Referenced Test

第1回公開テスト(1979年12月)の受験者のスコア分布を
基にスコアスケールを作成

→スコアが高い方が英語能力が高いことはわかるが、スコアと
実際に英語でできること(Can-do)との関係はわからない。
そのため後付で、スコアの持つ意味について検証

Item Response Theory

Anchor Itemを用いた等化(Equating)

Evidence-Centered Design

→より高いValidity



TOEIC®

TOEIC®
Research Summaries

*An Introduction to TOEIC:
The Initial Validity Study*

by Protase E. Woodford



IIBC 世界は、あなたでつながる。

一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会
The Institute for International Business Communication

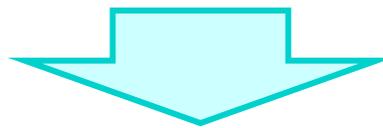
Copyright © The Institute for International Business Communication (IIBC) .

Score Descriptorの例

Listening Section		
Score	Strength(長所)	Weakness(弱点)
495~375	<p>一般的に以下の長所が認められます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短い会話において、応答が間接的だったり、または簡単に予測できないようなものであっても、広い語彙(あまり使われない語彙、あるいは様々なピックで用いられる語彙)を使用した話の主旨、目的、基本的な文脈が推測できる。 ・長い聴解文において、幅広く語彙が使用されていても、話の主旨、目的、基本的な文脈が推測できる。情報の繰り返しや言い換えがなかったり、広い範囲にわたって情報を関連付ける必要があるときでも、同じことができる。 ・短い会話において、否定構文が使用されていたり、構文が複雑だったり、難しい語彙が使われている場合でも詳細が理解できる。 ・長い聴解文において、広い範囲にわたって情報を関連付ける必要があったり、情報の繰り返しがなくても、話の詳細が理解できる。情報が言い換えられていたり、否定構文が使用されていても詳細が理解できる。 	<p>一般的に、このレベルのスコアを取得する受験者には、解答する際に、あまり使用されない文法や語彙が出てくるときにのみ、弱点が認められます。</p>

Evidence-Centered Design (Advanced Measurement Design Methodology)

- テストの目的は何か？
- スコア・ユーザーが受験者について知りたいことは何か？
- スコア・ユーザーが必要とする情報を提供するために必要となる証拠は何か？
- どのような問題を出題すれば、そうした証拠を集められるか？



受験者の成績(各設問の正誤)はテストの目的(測ろうとしている言語能力)と直接的にリンクしており、テスト結果として提供される情報を裏付ける証拠となる。

TOEIC L&R テストの構成



TOEIC®

Part	Name of each part	日本語	問題数
Listening Section			
1	Photographs	写真描写問題	6
2	Question-Response	応答問題	25
3	Conversations (with and without a visual image)	会話問題	39 (3 x 13)
4	Talks (with and without a visual image)	説明文問題	(3 x 10)
Reading Section			
5	Incomplete Sentences	短文穴埋め問題	30
6	Text Completion	長文穴埋め問題	16 (4 x 4)
7	Single Passages	1つの文書	29
	Multiple Passages	複数の文書	25

TOEIC問題作成のプロセス



Data Confirmation- Item analysis

問題が開発者が想定した通りの機能をしているか？

■ 難易度は適正か (P値、a parameter)

難しすぎる、簡単すぎる問題は良問ではない

※ただし何らかの意図をもって敢えてそのような問題を入れることもある

■ 受験者のレベルを区別(弁別)できているか (Biserial Correlation、b parameter)

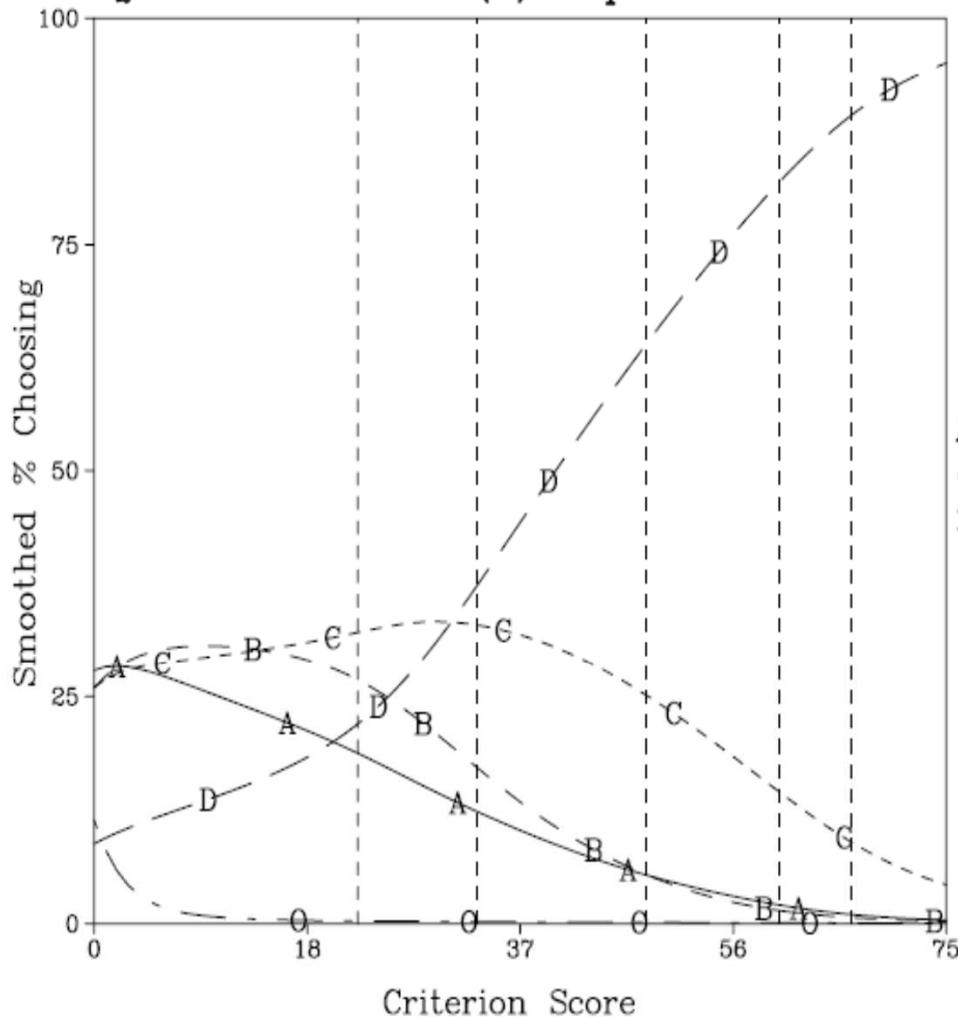
低レベルの受験者群の方が正答率が高い問題は良問とはいえない

■ 無解答率が高くないか

受験者のレベルに関わらず無解答率が高い設問は良問とはいえない。ただしその設問がテストの終盤にある場合は単純にその設問まで到達できていないために無解答の可能性もあることを留意する必要あり

分析例1: A Good Item ※選択肢Dが正解

Item FQ015307 901 Sec 1 (U) Seq 14 333HE1000



Multiple Choice, 4 choice

	N	%Tot	Mean	SD	Top 20%
A	32191	7.8	32.6	13.0	0.7
B	40635	9.9	30.7	11.4	0.5
C	93940	22.8	40.4	14.1	7.5
*D	245051	59.4	53.6	13.2	91.2
Omt	707	0.2	35.4	16.7	0.1
NR	0				
Rch412524	100.0	46.7	15.9		

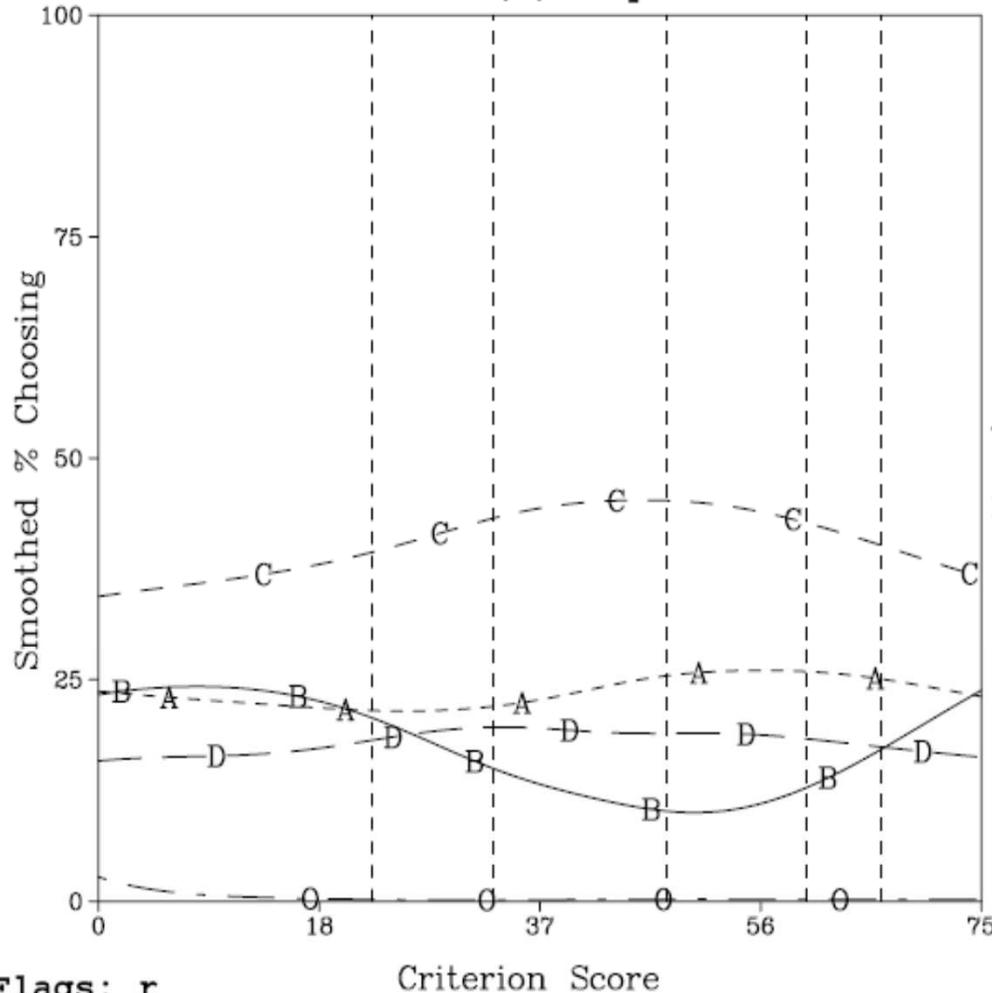
Average Item Score 0.59
 Correlation with Crit. 0.62
 Percent Reached 100.00

Multiple Choice, 4 choice

分析例2: A Bad Item? ※選択肢Bが正解



Flags: A r D
 Item VC385447 901 Sec 1 (U) Seq 41 333HE1003



Multiple Choice, 4 choice

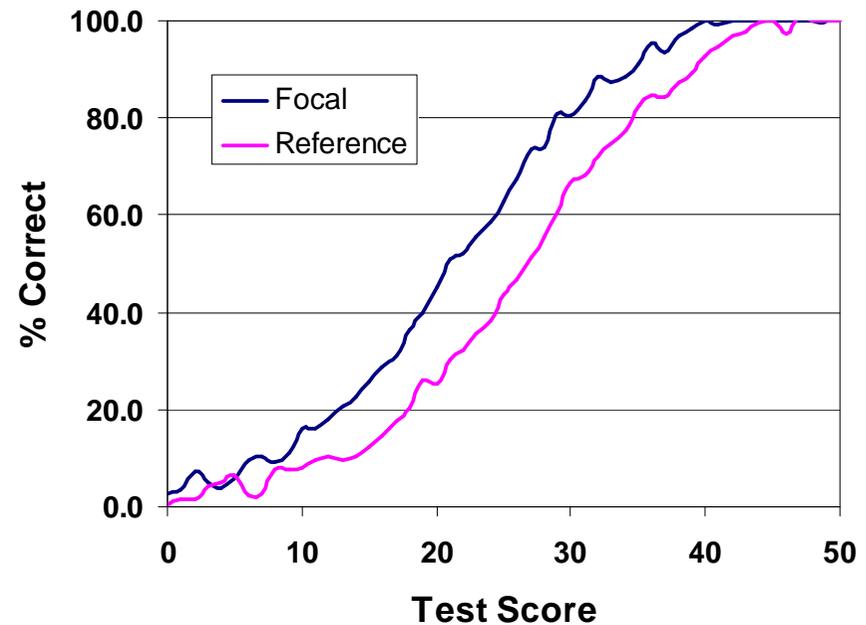
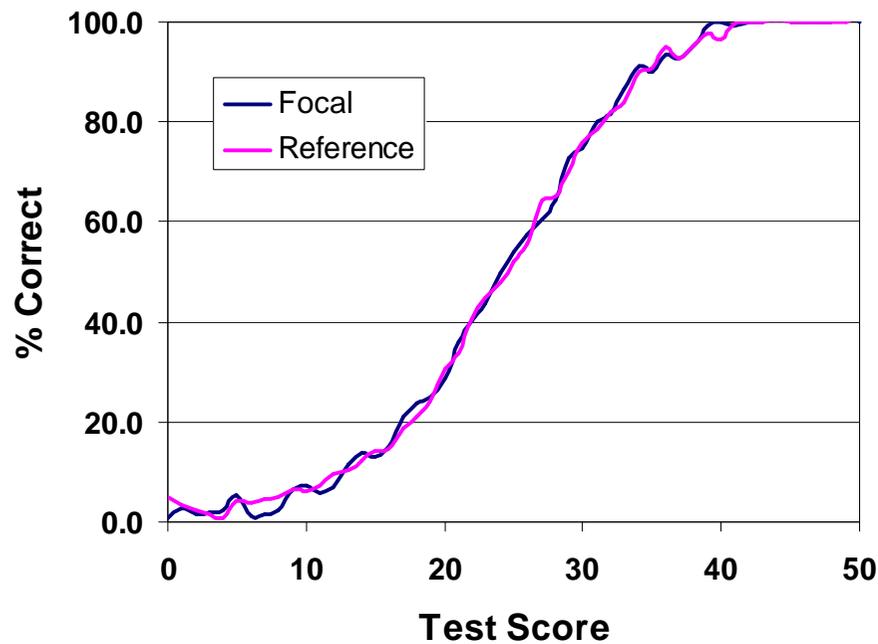
	N	%Tot	Mean	SD	Top 20%
A	5060	24.0	47.3	15.5	24.6
*B	3200	15.2	45.3	18.4	20.1
C	8889	42.2	46.5	15.2	38.4
D	3877	18.4	46.2	15.4	16.8
Omt	47	0.2	43.8	18.5	0.2
NR	0				
Rch	21073	100.0	46.5	15.9	

Average Item Score 0.15
 Correlation with Crit. -0.04
 Percent Reached 100.00

分析例3: Fairnessに関する検証

DIF (Differential Item Functioning)

- 性別・人種・母国語などが異なる対のグループで正答率に**特異な差**が発生していないかの検証



TOEIC[®] Speaking & Writing Testsの特長

- 国際的な職場環境において、効果的に英語でコミュニケーションをするために必要な「話す」「書く」能力を直接測定するテスト
- ETSのiBT (Internet-based test) というシステムを通じて実施
 - * ETSが開発したインターネットを通じてテストを実施するシステム。インターネット経由で行うことにより、問題の配信や解答データの送信が24時間可能となるため、全世界での実施を効率的に行うことが可能となる。
- 試験会場のPCにインターネットを介してテスト問題を配信
- PCに音声を吹き込む、あるいは文字を入力して解答
- 録音された音声や入力された文章をETS認定のHuman Raterが採点
- 大規模な対面式テストでは困難な「効率的で標準化された、公平な」方法での採点・フィードバックが可能

TOEIC[®] Speaking & Writing Testsの特長 (続き)

- CEFR基準でA1からC1レベルまでを評価
- Speaking 20分 11問/Writing 60分 8問
- Speaking、Writingともそれぞれ0点～200点のスコアレンジで評価
- 評価基準は常に一定 (Equatingが施されている)

TOEIC[®] Speaking & Writing Tests 受検の様子



TOEIC S&Wテストの構成 Speaking



TOEIC®

内容	設問数	回答時間	採点スケール
Read a text aloud (音読問題)	2	各問45秒 (準備時間 各45秒)	0~3
Describe a picture (写真描写問題)	1	45秒 (準備時間 30秒)	0~3
Respond to questions (応答問題)	3	15秒または30秒 (準備時間なし)	0~3
Respond to questions using information provided (提示された情報に基づく応答 問題)	3	15秒または30秒 (準備時間なし)	0~3
Propose a solution (解決策を提案する問題)	1	60秒 (準備時間 30秒)	0~5
Express a opinion (意見を述べる問題)	1	60秒 (準備時間 15秒)	0~5

TOEIC S&Wテストの構成

Writing



TOEIC®

内容	設問数	回答時間	採点スケール
Write a sentence based on a picture (写真描写問題)	5	5問で8分	0~3
Respond to a written request (Eメール作成問題)	2	各問10分	0~4
Write an opinion essay (意見を記述する問題) (写真描写問題)	1	30分	0~5

TOEIC[®] Speaking & Writing Tests

Criterion-Referenced Test

→評価がそのまま、できることにつながる。

Human RaterがRubricに沿って評価

測定している能力ーSpeaking

- 英語のネイティブスピーカーや英語に堪能なノンネイティブスピーカーに理解しやすい言葉で話すことができる
- 日常生活において、また仕事上必要なやりとりをするために適切に言葉を選択し使うことができる
(例えば指示を与えたり受けたり、情報や説明を求めたり与えたり、購入、挨拶、紹介ができる等)
- 一般的な職場において、筋道の通った継続的なやりとりができる

TOEIC® Speaking & Writing Tests

測定している能力－Writing

- 平易な文でも複雑な文でも、適切な語彙・語句を使用し、文法的に正しい文を作成できる
- 簡単な情報、質問、指示、話などを伝えるために複数の文で構成される文章を作成することができる
- 複雑な考えを表すために、状況に応じて理由、根拠、詳しい説明などを述べながら複数の段落から構成される文章を作成することができる

* TOEIC S&Wには、TOEIC L&Rと同様、一部にビジネスの場面が採用されておりますが、特殊なビジネス英語や特定の業界、分野の知識を必要としたり、特定の国の歴史や文化に関連する固有の事象がわからなければ解答できない問題などは含まれていません。

Rubricの例 — Speaking Q 11 意見を述べる問題

スケール	採点ポイント
5	<p>解答は自分の選択や意見を明確に示しており、その理由づけは容易に理解することができ、また、継続的に話されており、一貫性がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理由や詳細、論拠または例を提示することで、自分のとった選択や意見に対する裏づけがなされており、考えのつながりは明確である。 ・全体的にほどよいペースではっきりと話されている。発音、イントネーションに些細なミスやわずかな問題はあるが、全体の理解を妨げるものではない。 ・基本的な構文も複雑な構文も(必要に応じて)自由に使うことができる。些細なミスが時折見受けられるが、意味をわかりにくくするものではない。 ・語彙・語句の使い方は多少正確でない場合もあるが、効果的に使っている。
4	<p>解答は明確に自分の選択や意見を示しており、それらを十分に裏づけまたは展開できている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のとった選択や意見の理由を説明できているが、説明は十分には展開されていない。ところどころで間違いはあるものの、考えのつながりはほぼ明確である。 ・発音、イントネーション、ペースにわずかに問題があり、聞き手が理解しづらい箇所もある。ただし、全体の理解が大きく妨げられることはない。 ・比較的自由かつ有効に文法を使いこなせるが、使用する構文がやや限定的である。 ・語彙・語句をかなり効果的に使えるが、不正確・不明確なものもある。

Rubricの例 — Speaking Q 11 意見を述べる問題(続き)

スケール	採点ポイント
3	<p>自分のとった選択や好み、意見を提示できているが、それらを展開したり裏づけすることに限りがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の選択、好み、意見を支持する理由を最低1つは示している。しかし、詳細な説明はほとんどなく、同じ内容の繰り返しにすぎない。また、あいまいではっきりしない。 ・話す内容は基本的にわかるが、発音が不明瞭だったり、イントネーションがぎこちない、またはリズムやペースが不規則なため、ところどころ意味がはっきりせず、聞き手は理解に苦労する。 ・使える文法に限りがある。うまく流暢に使っているのは基本的な構文がほとんどである。 ・使用できる語彙・語句は限られている。
2	<p>課題に関連する自分の選択や好み、意見を示してはいるが、その理由を提示していないまたはその理由がわかりづらく一貫性がない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発音、アクセント、イントネーションに終始問題があり、聞き手はかなり理解に苦労する。断片的で途切れがちな話し方、また長い間かあいたり、口ごもることがたびたびある。 ・使用できる文法が非常に限られていて、言いたいことを表現したり、思考の流れを明確に表現することができない。 ・使用できる語彙・語句はかなり限られており、繰り返しが多い。
1	<p>課題や設問文をそのまま読み上げているだけである。課題が要求する自分の意見や選択、好みを示すことができない。単語のみ、またはフレーズのみ、あるいは母国語と英語を混ぜて答えている。</p>
0	<p>無解答、もしくは解答の中に英語が含まれていない、またはテストと全く関係ないことを答えている。</p>

能力レベル別評価一覧表



Level	Speaking Proficiency Level Descriptors
<p>[8] 190～200</p>	<p>一般的に、レベル8に該当する受験者は、一般の職場にふさわしい継続的な会話ができる。意見を述べたり、複雑な要求に応えたりする際の話の内容は大変わかりやすい。基本的な文法も複雑な文法もうまく使いこなし、正確で的確な語彙・語句を使用している。 また、質問に回答し、基本的な情報を提供することができる。 発音、イントネーション、強調すべき部分がいつも大変わかりやすい。</p>
<p>[7] 160～180</p>	<p>一般的に、レベル7に該当する受験者は、一般の職場にふさわしい継続的な会話ができる。的確に意見を述べたり、複雑な要求に応えることができる。長い応答では、以下の弱点が一部現れることがあるが、意思の伝達を妨げるものではない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発音、イントネーションにわずかだが問題があり、話すとき、躊躇することがある ・複雑な文法構造を使うときにいくつか誤りがみられることがある ・不正確な語彙・語句の使用がいくつかみられることがある <p>また、質問に回答し、基本的な情報を提供することができる。 書かれたものを読み上げる際の英語は大変わかりやすい。</p>
<p>[6] 130～150</p>	<p>一般的に、レベル6に該当する受験者は、意見を述べたり、複雑な要求に対して、適切に応えることができる。しかしながら、少なくとも部分的に意見の根拠や説明が聞き手にとって不明瞭なことがある。これには、以下の理由が考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話さなければならない時、発音がはっきりしない、またはイントネーションや強調すべき部分が不適切である ・文法に誤りがある ・使用できる語彙・語句の範囲が限られている <p>また、ほとんどの場合、質問に回答し、基本的な情報を提供することができる。しかしながら、しばしば内容は理解しにくい。 書かれたものを読み上げる際の英語はわかりやすい。</p>

能力レベル別評価一覧表



Level	Speaking Proficiency Level Descriptors
<p>[5] 110~120</p>	<p>一般的に、レベル5に該当する受験者は、ある程度、意見を述べる、または複雑な要求に応えることができる。ただし、応答には以下のような問題がみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉が不正確、あいまい、または同じ言葉を繰り返し述べている ・聞き手の立場や状況をほとんど、またはまったく意識していない ・間が長く、躊躇することが多い ・考えを表現すること、またいくつかの考えを関連づけて表現することに限界がある ・使用できる語彙・語句の範囲が限られている <p>また、ほとんどの場合、質問に回答し、基本的な情報を提供することができる。しかしながら、しばしば内容は理解しにくい。</p> <p>書かれたものを読み上げる際の英語は概ねわかりやすいが、自らが考えて話をするときは、発音、イントネーション、強調すべき部分に時々誤りがある。</p>
<p>[4] 80~100</p>	<p>一般的に、レベル4に該当する受験者は、意見を述べる、または複雑な要求に応えようとするが、うまくいかない。1つの文のみ、または文の一部のみで応答することがある。このほかに、以下のような問題がみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回答がとても短い、または長くてもほとんどの部分が理解しにくい ・聞き手の立場や状況をほとんど、またはまったく意識していない ・発音、イントネーション、強調すべき部分に常に問題がある ・間が長く、躊躇することが多い ・語彙・語句が非常に限られている <p>また、ほとんどの場合、質問に答えることも、基本的な情報を提供することもできない。</p> <p>書かれたものを読み上げる際の英語はわかりやすい場合もあるが、わかりにくい場合もある。自らが考えて話をするときは、発音、イントネーション、強調すべき部分に問題が多い。</p>

能力レベル別評価一覧表



Level	Speaking Proficiency Level Descriptors
[3] 60～70	<p>一般的に、レベル3に該当する受験者は、若干の支障はあるものの簡単なことは言える。ただし、その意見の裏付けを述べることはできない。複雑な要求に対する応答は、非常に限られている。</p> <p>また、ほとんどの場合、質問に答えることも、基本的な情報を提供することもできない。語彙・語句または文法が不十分なため、簡単な描写をすることもできない。書かれたものを読み上げる際の英語は理解しにくいことがある。</p>
[2] 40～50	<p>一般的に、レベル2に該当する受験者は、意見を述べることも、意見の裏付けを述べることもできない。複雑な要求に応えることもできない、また、まったく的外れな応答をする。質問に答える、基本的な情報を提供するなど、社会生活や職業上の日常的な会話も理解しにくい。</p> <p>書かれたものを読み上げる際の英語は理解しにくいことがある。</p>
[1] 0～30	<p>一般的に、レベル1に該当する受験者は、スピーキングのかなりの部分に回答していない。テストのディレクションや設問の内容を理解するのに必要な英語のリスニング、またはリーディング能力に欠ける。</p>

能力レベル別評価一覧表



Level	Writing Proficiency Level Descriptors
<p>[9] 200</p>	<p>一般的に、レベル9に該当する受験者は、簡単な情報を的確に伝達することができ、理由や例をあげて、または説明をして、意見を裏付けることができる。簡単な情報を提供する、質問する、指示を与える、または要求するときは、明確で、一貫性のある、的確な文章を書くことができる。理由や例をあげたり、または説明をして意見を裏付けるなどして、よくまとまった、十分に展開された文章を書くことができる。さまざまな構文や適切な語彙・語句を使い、自然な英語を書くことができる。文法も正確である。</p>
<p>[8] 170~190</p>	<p>一般的に、レベル8に該当する受験者は、簡単な情報を的確に伝達することができ、理由や例をあげて、または説明をして、意見を裏付けることができる。簡単な情報を提供する、質問する、指示を与える、または要求するときは、明確で、一貫性のある、的確な文章を書くことができる。さらに、理由や例をあげて、または説明をして、意見を裏付けるときは、概ね上手な文章を書くことができる。概ねよくまとまった文章で、さまざまな構文や適切な語彙・語句を使用している。ただし、以下の弱点の1つがみられることがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時折、同じ考えを不必要に繰り返す、または述べられている様々な考え同士の関連が不明確である ・文法上の小さな誤りがある、または語彙・語句の選択が不正確である
<p>[7] 140~160</p>	<p>一般的に、レベル7に該当する受験者は、簡単な情報を提供する、質問をする、指示を与える、または要求することが的確にできるが、理由や例をあげて、または説明をして、意見を裏付けることは部分的にしかできない。簡単な情報を提供する、質問する、指示を与える、または要求するときは、明確で、一貫性のある、的確な文章を書くことができる。意見について説明しようとするときは、その意見と関連のある考えやある程度の裏付けを提示することができる。このレベルにみられる一般的な弱点には、以下のようなものがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点の具体的な裏付けや展開が不十分である ・述べられている様々な要点同士の関連が不明確である ・文法的な誤りがある、または語彙・語句の選択が不正確である

能力レベル別評価一覧表



Level	Writing Proficiency Level Descriptors
<p>[6] 110～130</p>	<p>一般的に、レベル6に該当する受験者は、簡単な情報を提供し、理由や例をあげて、または説明をして意見を裏付けることは部分的にはできる。簡単な情報を提供する、質問する、指示を与える、または要求するときは、重要な情報を書き忘れることがある、または文章にわかりにくい部分がある。意見について説明しようとするときは、その意見と関連のある考えやある程度の裏付けを提示することができる。このレベルにみられる一般的な弱点には、以下のようなものがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点の具体的な裏付けや展開が不十分である ・述べられている様々な要点同士の関連が不明確である ・文法的な誤りがある、または語彙・語句の選択が不正確である
<p>[5] 90～100</p>	<p>一般的に、レベル5に該当する受験者は、簡単な情報を提供することは部分的にはできるが、理由や例をあげて、または説明をして意見を裏付けることはほとんどの場合、できない。簡単な情報を提供する、質問する、指示を与える、または要求するときは、重要な情報を書き忘れることがある、または文章にわかりにくい部分がある。意見について説明しようとするときは、コミュニケーションの障害となる以下のような重大な弱点がみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見を裏付ける例、説明、詳細が不十分である、または不適切である ・考えを述べる構成がよくない、または考え同士の関連が不十分である ・考えが十分に展開されていない ・重大な文法的誤りがある、または語彙・語句の選択が不正確である

能力レベル別評価一覧表



Level	Writing Proficiency Level Descriptors
<p>[4] 70~80</p>	<p>一般的に、レベル4に該当する受験者は、意見を述べ、簡単な情報を提供する能力の発展段階にあり、コミュニケーションができることは限られている。簡単な情報を提供する、質問する、指示を与える、または要求するときは、以下の理由で、課題を完全に達成することができない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報が欠けている ・文章と文章のつながりが欠けている、またはあいまいである、あるいは(そして)文法的誤りが多い、または語彙・語句の選択が不正確である <p>意見について説明しようとするときは、コミュニケーションの障害となる以下のような重大な弱点がみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見を裏付ける例、説明、詳細が不十分である、または不適切である ・考えを述べる構成がよくない、または考え同士の関連が不十分である ・考えが十分に展開されていない ・重大な文法的誤りがある、または語彙・語句の選択が不正確である
<p>[3] 50~60</p>	<p>一般的に、レベル3に該当する受験者は、意見を述べ、簡単な情報を提供する能力が限られている。簡単な情報を提供する、質問する、指示を与える、または要求するときは、以下の理由で、課題を完全に達成することができない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報が欠けている ・文章と文章のつながりが欠けている、またはあいまいである、あるいは(そして)文法的誤りが多い、または語彙・語句の選択が不正確である <p>意見を説明しようすると、以下の重大な欠陥が1つもしくは複数以上みられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無秩序な構成と不十分な展開 ・詳細情報の欠落、または関連の欠如 ・文法的誤りの頻発、または不正確な語彙・語句の選択

能力レベル別評価一覧表



Level	Writing Proficiency Level Descriptors
<p>[2] 40</p>	<p>一般的に、レベル2に該当する受験者は、意見を述べ、簡単な情報を提供する能力がかなり限られている。 レベル2に該当する受験者は、簡単な情報を提供することができない。このレベルに特有の弱点には、以下が含まれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要な情報がまったく含まれていない ・記述された事柄同士につながりがない、またはあいまいである ・文法的誤りが頻発する、または語彙・語句の選択が不正確である <p>意見を説明しようとする、以下の重大な欠陥が1つもしくは複数以上みられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無秩序な構成と不十分な展開 ・詳細情報の欠落、または関連の欠如 ・文法的誤りの頻発、または不正確な語彙・語句の選択 <p>レベル2に該当する受験者は、文法的に正確な文章を作成することができない。</p>
<p>[1] 0～30</p>	<p>一般的に、レベル1に該当する受験者は、ライティングのかなりの部分に回答していない。テストのディレクションや設問の内容を理解するのに必要な英語のリーディング能力に欠ける</p>

TOEIC® Speaking Testの実施方法

- ▶ 各試験会場のPCにはETSのiBT (Internet-based test) というシステムを通じてETSよりテスト問題が配信される
- ▶ 受験者は各試験会場のPCを使って受験
- ▶ 試験終了後各受験者の解答(音声データ)はiBTシステムを通じてETSのサーバーに送られる

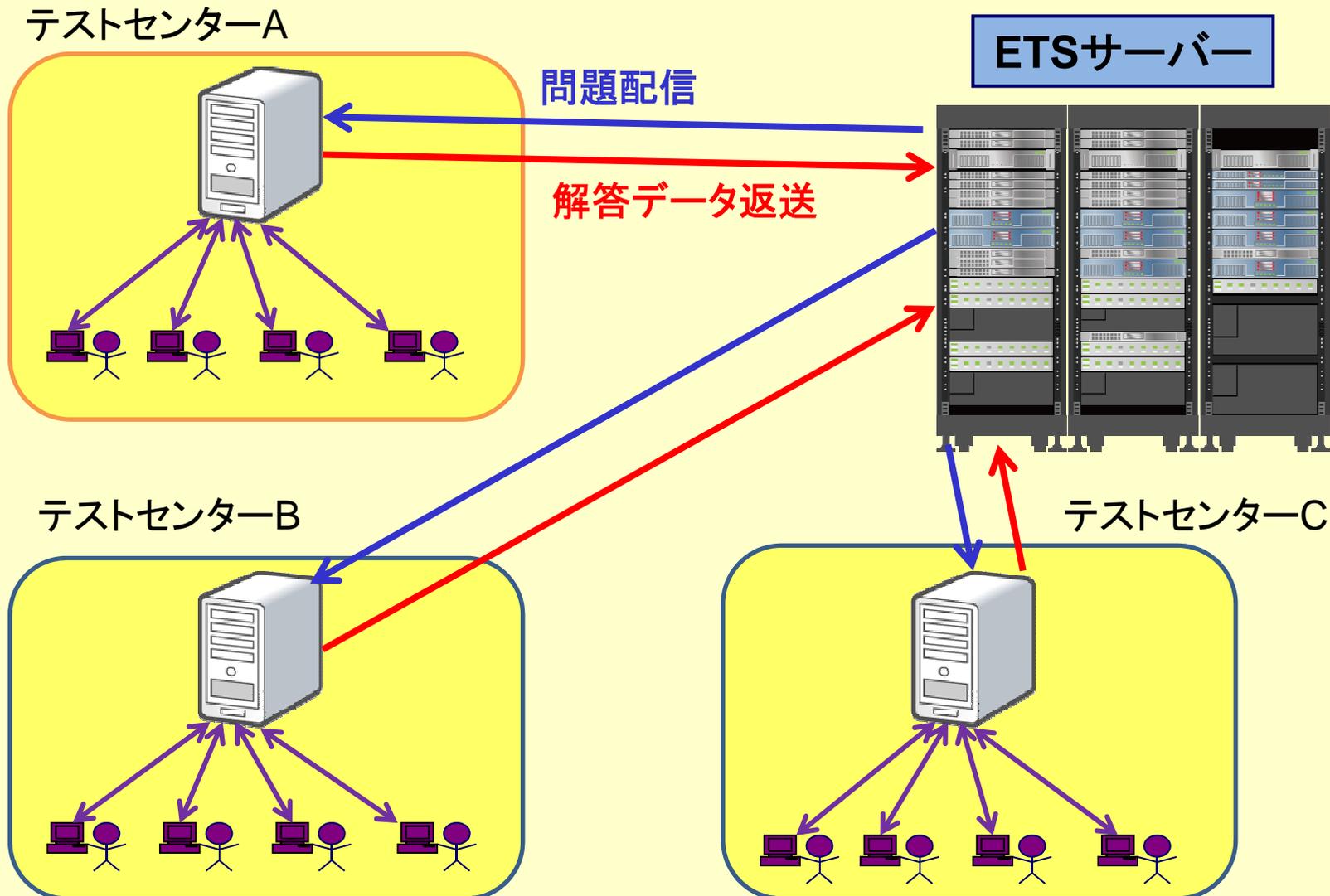
※ iBT (Internet Based Testing) システム

ETSが開発したインターネットを通じてテストを実施するシステム。インターネット経由で行うことにより、問題の配信や解答データの送信が24時間可能となるため、全世界での実施を効率的に行うことが可能となる。ETSが実施するTOEFL iBT、TOEIC Speaking & Writing Test、GRE等で採用されている。

TOEIC[®] Speaking & Writing Test 実施方法



TOEIC[®]



TOEIC® Speaking & Writing Test TOEIC®

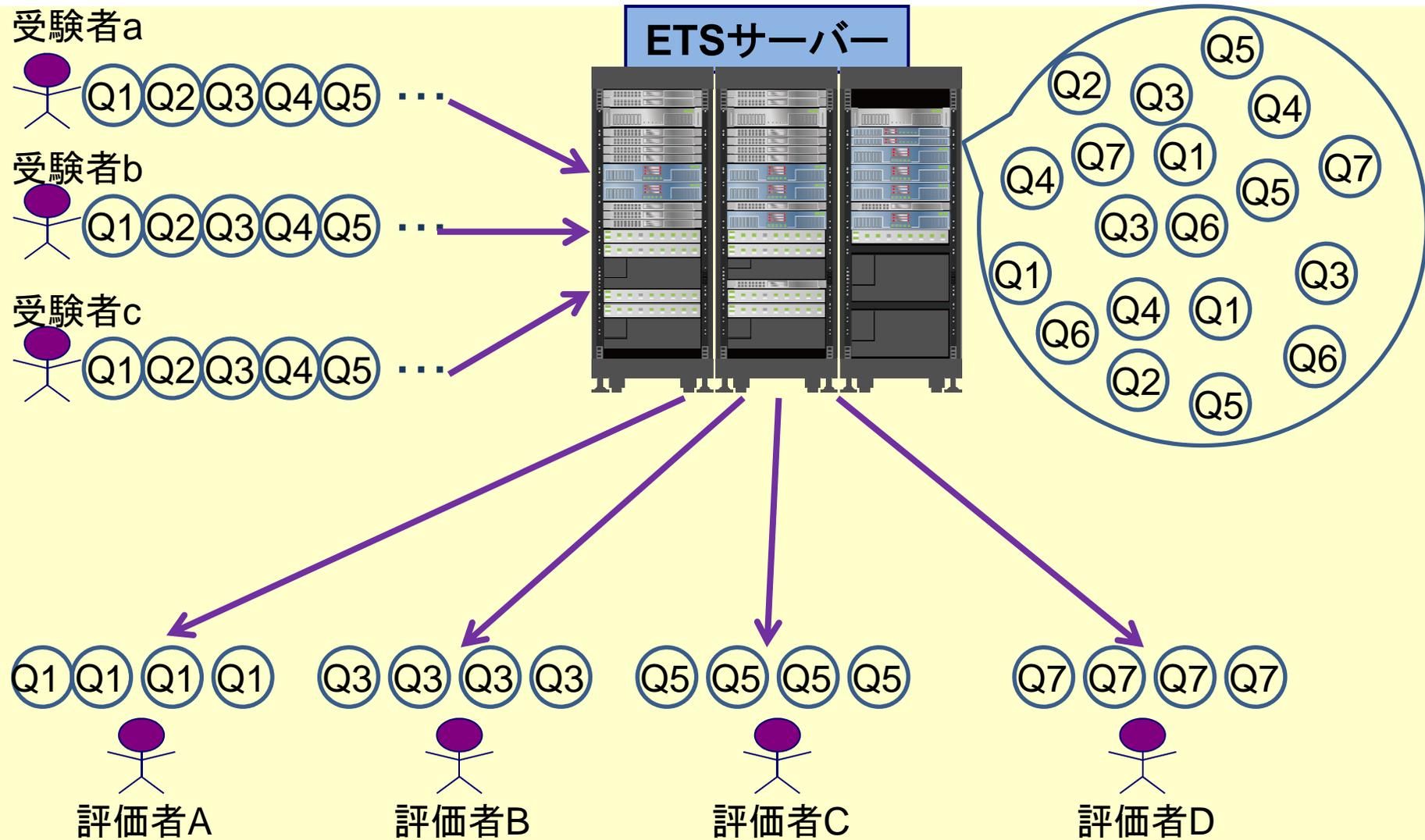
評価方法

- ▶ 解答データはETSのオンライン・スコアリング・ネットワーク(OSN)※を通してパートごとに切り離される
- ▶ 高度なトレーニングを受けたETSの評価チームにランダムかつ匿名でパート別に割り振られる
- ▶ 複数の評価者が担当する個別のパートのみを採点

※オンライン・スコアリング・ネットワーク (OSN: Online Scoring Network)

ETSが開発したTOEIC® Speaking & Writingを採点するインターネット上のシステム。ETSの認定を受けた評価者がOSNにアクセスして採点します。OSNによる採点では受験者情報と解答データは完全に分離され、評価者は受験者の国籍や氏名、他の設問でどのような解答をしているかなどを知ることはできません。こうして各設問の採点の独立性が保たれます。また、OSNを通して評価者は採点を始める前に必ずテスト(評価基準を一定に保つためのチェックテスト)を受け、評価の正確性を確認しなければなりません。

TOEIC® Speaking & Writing Test 評価方法

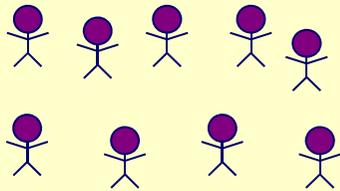


評価の信頼性を維持するために



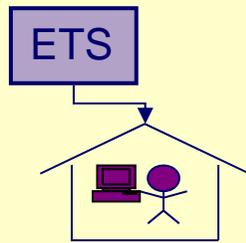
評価者の選抜

1. 募集



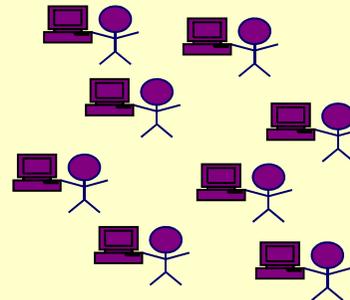
応募条件：
大学等で専門の
資格取得者
Non-nativeに英語
を教えた経験のあ
ることが望ましい

2. トレーニング



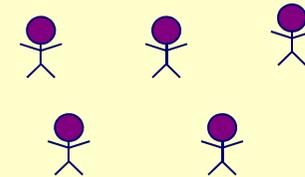
オンラインで
集中的に
トレーニング
(各問題ごと)

3. テスト



トレーニングを
受けた問題の
採点のテストを
受ける

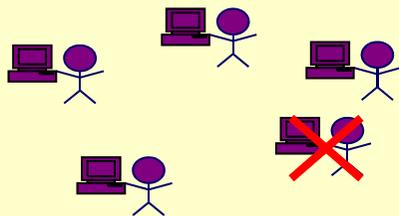
4. 合格者のみ 評価者として登録



評価の信頼性を維持するために (続き)

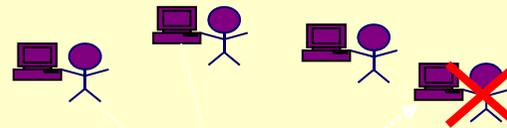
評価のクオリティー維持

5. Calibration Test (事前の適性チェック)



採点直前にテストを受け合格しなければ、その日は採点をすることができない

6. 採点 (Scoring leader によるモニタリング)



採点の中止、
再教育

Scoring leader
(評価者のリーダー)

7. 採点結果の分析・ 検証

採点の結果



分析、検証

統計分析
の専門家

受験料・会場



受験形態		TOEIC L&R	TOEIC S & W	4技能計	備考
公開テスト	個人	5,725円	10,260円	15,985円	個人申込
	団体一括(非賛助会員)	5,725円	10,260円	15,985円	10名以上一括申込
	団体一括(賛助会員)	4,645円	9,180円	13,825円	10名以上一括申込
IPテスト 団体特別 受験制度	非賛助会員	4,155円	9,050円	13,205円	10名以上一括申込
	賛助会員	3,075円	7,970円	11,045円	10名以上一括申込

* 価格は全て税込

■ TOEIC L&R 公開テスト 会場数および実施頻度
全国47都道府県80都市、250会場、年10回実施
1月、3月、4月、5月、6月、7月、9月、10月、11月、12月

■ TOEIC S&W 公開テスト 会場数および実施頻度
全国13都市、30会場
毎月1回 午前ならびに午後実施 計年間24回
北海道、宮城、埼玉、東京、千葉、神奈川、静岡、愛知、京都、大阪、兵庫、広島、福岡

■ TOEIC L&R、S&WともIPテスト(団体特別受験制度)はご希望の日時・場所にて実施できます。

受験者数・活用事例等



ETSが公表している全世界での*TOEICプログラム受験者数は約700万人

* TOEIC Listening & Reading Test、TOEIC Speaking & Writing Tests、
TOEIC Bridge Testの総称。世界160カ国で実施されている。

2016年度の日本国内での受験者数は

TOEIC Listening & Reading Test: 2,500,000人

TOEIC Speaking & Writing Tests: 32,300人

TOEIC Bridge Test: 182,000人

■TOEICプログラム採用学校数

TOEIC Listening & Reading Test: 1,030校

TOEIC Speaking & Writing Tests: 130校

■学校におけるTOEICプログラム採用事例

入学試験(一般入試、AO入試、推薦入試、等)

プレースメント

進級、卒業等の要件

海外留学基準

中学、高校英語教員のレベル把握

CEFRとTOEICスコアとの関係



TOEFL

ISSN 1930-9317

TOEFL iBT Research Report

TOEFLiBT-06

June 2008

Linking English-Language Test Scores Onto the Common European Framework of Reference: An Application of Standard-Setting Methodology

CEFRとTOEICスコアとの関係



Test/Test Section	Total Score Scale Range	Minimum Score				
		A1	A2	B1	B2	C1
TOEIC Listening and Reading Total¹						
TOEIC Listening	5-495	60	110	275	400	490
TOEIC Reading	5-495	60	115	275	385	455 ⁴
TOEIC Speaking and Writing²						
TOEIC Speaking	0-200	50	90	120	160	180 ⁵
TOEIC Writing	0-200	30	70	120	150	180 ⁵

TOEICプログラムに関するWeb Site

IIBCホームページ

(TOEICプログラムに関する日本語での説明)

<http://www.iibc-global.org/>

ETSホームページ

(TOEICプログラム関連Research Report)

<https://www.ets.org/>